

埼玉大学

SAITAMA UNIVERSITY 2021



新型コロナウイルス感染症関連等の影響により試験日程や入学者選抜方法に変更が生じる可能性があります。

変更が生じた場合は埼玉大学ホームページ (<http://www.saitama-u.ac.jp>)にてお知らせいたします。

令和3年度

入学者選抜に関する要項

令和2年7月

目 次

I	学部・学科・課程・コース・専修・分野等及び募集人員	
	教養学部、経済学部、理学部、工学部	1
	教育学部	2
II	令和3年度入学者選抜日程の概要	3
III	学士課程の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	5
IV	一般選抜	
1	出願資格	14
2	合否判定基準	14
3	募集方法等	
A	分離分割方式及び併願について	16
B	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の出題教科・科目、配点等	17
C	実技検査	43
D	面接・小論文	46
V	特別選抜	
1	総合型選抜	48
2	学校推薦型選抜	50
3	社会人選抜	61
4	帰国子女選抜	62
5	私費外国人留学生選抜	64
VI	障がい等のある入学志願者の事前相談について	68
VII	入学資格審査について	69
VIII	入試情報の開示	69
IX	令和3年度学生募集要項の入手方法	69
X	入試情報ホームページ及びスマホサイト	69

I 学部・学科・課程・コース・専修・分野等及び募集人員

単位：人

学部	学科又は課程等	入学定員	区分・募集人員等						
			一般選抜		特別選抜				
			前期	後期	総合	推薦	帰国	社会	私費
教養学部	教養学科	160	115	25	—	20	若干名	—	若干名
経済学部	昼間コース経済学科	280	210 注2	20 注3	50	—	—	—	若干名
	夜間主コース経済学科	15	—	—	—	—	—	15	—
	計	295	230	50	—	—	—	15	若干名
教育学部	2頁参照								
	計	380	284	—	—	96	—	—	若干名
理学部	数学科	40	20	20	—	—	—	—	若干名
	物理学	40	10	30	—	—	—	—	若干名
	基礎化学	50	15	30	—	5	—	—	若干名
	分子生物学	40	20	20	—	—	—	—	若干名
	生体制御	40	22	14	4	—	—	—	若干名
	計	210	87	114	4	5	—	—	若干名
工学部	機械工学・システムデザイン学科	110	50	60	—	—	若干名	—	若干名
	電気電子物理工学科	110	55	55	—	—	若干名	—	若干名
	情報工学科	80	40	35	5	—	若干名	—	若干名
	応用化学	90	40	50	—	—	若干名	—	若干名
	環境社会デザイン学科	100	50	40	—	10	若干名	—	若干名
	計	490	235	240	5	10	若干名	—	若干名
	合計	1,535	951	429	9	131	若干名	15	若干名

注

- 特別選抜の内容表示
 【総合】総合型選抜 【推薦】学校推薦型選抜 【帰国】帰国子女選抜
 【社会】社会人選抜 【私費】私費外国人留学生選抜
- 経済学部 一般選抜枠
- 経済学部 国際プログラム枠

単位：人

学部	募集単位等	入学定員	区分・募集人員等							
			一般選抜		総合	特別推薦	帰国	社会	私費	
			前期	後期						
教育学部	文系	117	117	—	—	—	—	—	—	
	理系	38	38	—	—	—	—	—	—	
	実技系	音楽分野	23	23	8(注1)	—	—	—	—	—
		図画工作分野	—	—	7(注1)	—	—	—	—	—
		体育分野	—	—	8(注1)	—	—	—	—	—
		(教育学に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	6(注1)	—	—
		(心理学・教育実践学に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	14(注1)	—	—
		(国語教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	2(注1)	—	—
		(英語教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	2(注1)	—	—
		(社会科教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	10(注1)	—	—
		(算数教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	3(注1)	—	—
		(理科教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	5(注1)	—	—
		(音楽教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	5(注1)	—	—
		(図画工作教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	3(注1)	—	—
		(体育教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	5(注1)	—	—
		(ものづくりと情報教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	4(注1)	—	—
		(家庭科教育に関心を持つ者)	—	—	—	—	—	3(注1)	—	—
		教育学専修	—	—	—	—	—	—	—	若干名
		心理・教育実践学専修	—	—	—	—	—	—	—	若干名
		言語文化専修	国語分野	—	—	—	—	—	—	若干名
			英語分野	—	—	—	—	—	—	若干名
		社会専修	—	—	—	—	—	—	—	若干名
		自然科学専修	算数分野	—	—	—	—	—	—	若干名
			理科分野	—	—	—	—	—	—	若干名
		芸術専修	音楽分野	—	—	—	—	—	—	若干名
			図画工作分野	—	—	—	—	—	—	若干名
		生活創造専修	ものづくりと情報分野	—	—	—	—	—	—	若干名
			家庭科分野	—	—	—	—	—	—	若干名
		言語文化専修	国語分野	8	6	—	—	2	—	若干名
			英語分野	9	7	—	—	2	—	若干名
	社会専修	10	8	—	—	2	—	若干名		
	自然科学専修	数学分野	12	10	—	—	2	—	若干名	
		理科分野	13	10	—	—	3	—	若干名	
	芸術専修	音楽分野	5	3	—	—	2	—	若干名	
		美術分野	5	3	—	—	2	—	若干名	
	身体文化専修	保健体育分野	6	3	—	—	3	—	若干名	
		技術分野	7	5	—	—	2	—	若干名	
	生活創造専修	5	3	—	—	2	—	若干名		
	家庭科分野	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	乳幼児教育コース	20	15	—	—	5	—	若干名		
	特別支援教育コース	20	18	—	—	2	—	若干名		
	養護教諭養成課程	20	15	—	—	5	—	若干名		
	計	380	284	—	—	96	—	—	若干名	

(注1)この内訳は目安です。

※ 教育学部は、後期日程の募集はしません。

【所属専修(分野)について】

● 学校推薦型選抜での小学校コース入学者については、以下のとおりの所属です。

募集単位等	1年次後半以降所属
教育学に関心を持つ者	教育学専修
心理学・教育実践学に関心を持つ者	心理・教育実践学専修
国語教育に関心を持つ者	言語文化専修 国語分野
英語教育に関心を持つ者	言語文化専修 英語分野
社会科教育に関心を持つ者	社会専修
算数教育に関心を持つ者	自然科学専修 算数分野
理科教育に関心を持つ者	自然科学専修 理科分野
音楽教育に関心を持つ者	芸術専修 音楽分野
図画工作教育に関心を持つ者	芸術専修 図画工作分野
体育教育に関心を持つ者	身体文化専修 体育分野
ものづくりと情報教育に関心を持つ者	生活創造専修 ものづくりと情報分野
家庭科教育に関心を持つ者	生活創造専修 家庭科分野

● 一般選抜での小学校コース文系及び理系入学者については、本人の希望と1年次前半の成績によって所属する専修(分野)を決定します。

所属先は原則として以下の通りです。

- ・文系入学者の所属先 教育学専修、心理・教育実践学専修、言語文化専修国語分野、言語文化専修英語分野、社会専修、生活創造専修家庭科分野*
- ・理系入学者の所属先 自然科学専修算数分野、自然科学専修理科分野、生活創造専修ものづくりと情報分野、生活創造専修家庭科分野*

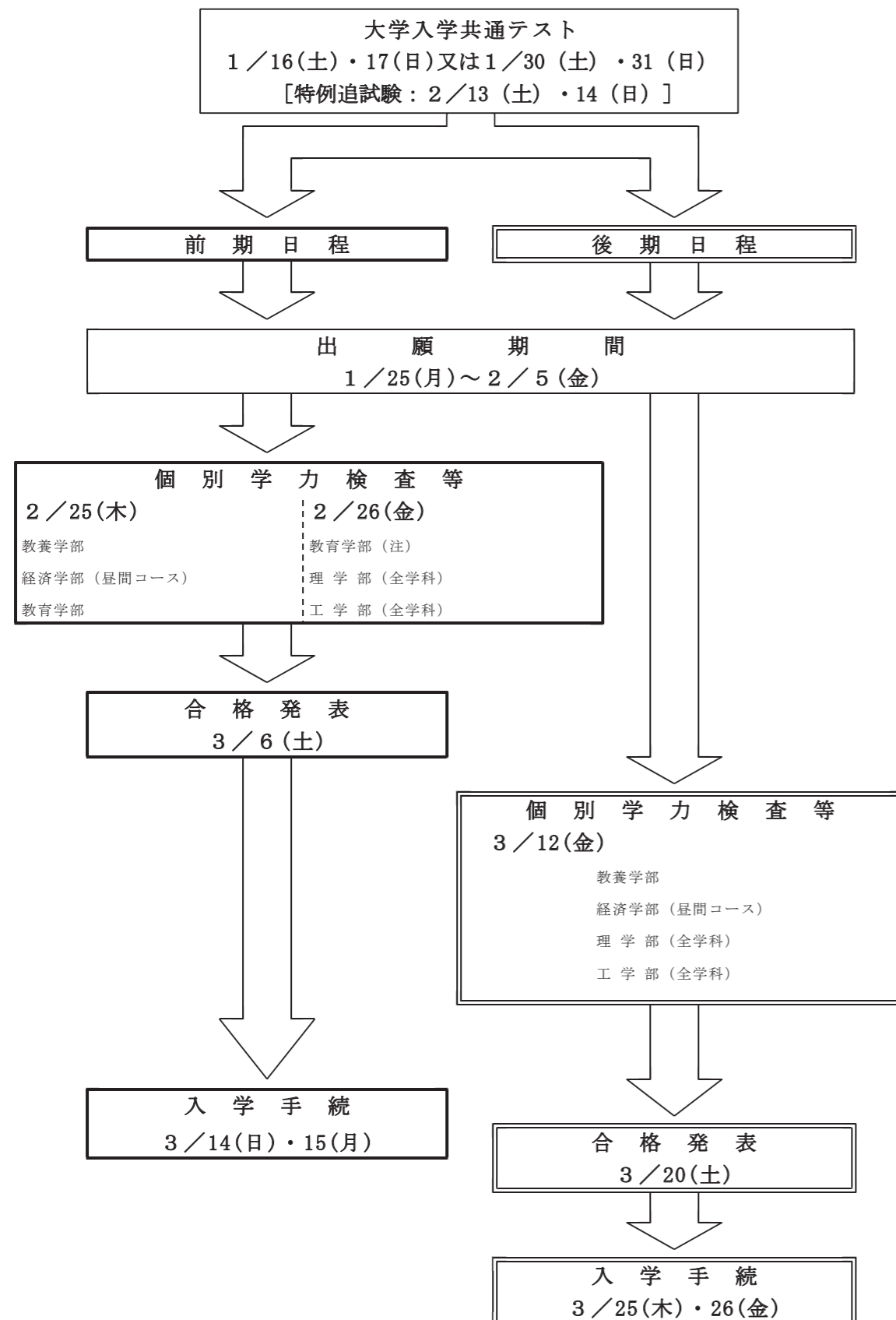
*生活創造専修家庭科分野は、文系入学者・理系入学者いずれも所属先とすることができます。

● 小学校コース実技系入学者については、原則として個別学力検査科目に対応する専修(分野)に所属します。

Ⅱ 令和3年度入学者選抜日程の概要

本冊子において未定と記載されている日程、新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者の受験機会確保の方策については、埼玉大学ホームページにてお知らせします。

1 一般選抜



(注) 2/26(金) 教育学部の個別学力検査等実施募集単位

学校教育教員養成課程 小学校コース 実技系図画工作分野、中学校コース 芸術専修美術分野及び生活創造専修技術分野が対象になります。小学校コース 実技系音楽分野、中学校コース 芸術専修音楽分野は、出願時に提出する録画ファイル(詳細は43頁参照のこと)により実技検査を行うため、埼玉大学構内で実施する選抜はありません。それ以外の募集単位は、2/25(木)に全て実施します。

2 特別選抜

選抜区分	出願期間	学 部	選抜期日	合格発表	入学手続
総合型選抜	9/15(火)～ 9/18(金)	理学部	講義: 10/16(金), 10/23(金) 面接: 11/14(土)	12/1(火)	12/10(木)
		工学部	講義: 10/23(金) 10/30(金), 11/6(金) 面接: 10/17(土)	12/1(火)	12/10(木)
学校推薦型 選抜	11/2(月)～ 11/5(木)	教養学部	11/14(土)	12/1(火)	12/10(木)
		教育学部	11/14(土), 15(日)	(注1)	(注2)
		理学部	11/14(土)	未定	未定
		工学部	11/14(土)	未定	未定
社会人選抜	10/5(月)～ 10/13(火)	経済学部 (夜間主コース)	11/14(土)	12/1(火)	12/10(木)
帰国子女選抜		教養学部	2/25(木)	3/6(土)	3/14(日), 15(月)
		工学部	2/26(金)		
私費外国人 留学生選抜	1/18(月)～ 1/25(月)	教養学部	2/25(木)	3/6(土)	3/14(日), 15(月)
		経済学部 (昼間コース)	2/17(水), 19(金)		
		教育学部	2/24(水), 25(木), 26(金) (注3)		
		理学部	3/12(金), 15(月)	3/20(土)	3/25(木), 26(金)
		工学部	2/26(金)	3/6(土)	3/14(日), 15(月)

(注1) 大学入学共通テストを課す募集単位等 未定
大学入学共通テストを課さない募集単位等 12/1(火)

(注2) 大学入学共通テストを課す募集単位等 未定
大学入学共通テストを課さない募集単位等 12/10(木)

(注3) 志望課程・コース・専修・分野によって日程が異なるため、64頁を確認してください。

Ⅲ 学士課程の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることのすべてが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学及び入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、すべての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なのですから、教職員も含めすべての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入試を課します。

1 教養学部の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教養学部では、次のような人材の育成を目指します。

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化の5専修より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。

- ① 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ② 人文学、社会科学の専門分野(グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化)における十分な知識と能力
- ③ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ④ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ⑤ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ② 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ③ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ④ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

教養学部では、広く全国の高等学校卒業生、帰国子女、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学受入れのため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

- (1) 一般選抜(前期日程)
 - ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。

- ・専門教育の基礎となる学力を調べるために、外国語の試験を課します。
- (2) 一般選抜(後期日程)
 - ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・小論文を課します。小論文では、理解力、論理的な考察力、記述力、表現力、主体性などを調べます。
- (3) 学校推薦型選抜
 - ・出身学校長作成の「推薦書」などを活用し、総合的に評価します。
 - ・課題を与えて小論文を課します。小論文では、論理的な考察力、記述力、表現力などを調べます。
 - ・面接を課します。面接では、在学中の課外活動などをはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
- (4) 帰国子女選抜
 - ・出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力、海外生活で何を修得したかななどを調べます。
- (5) 私費外国人留学生選抜
 - ・出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目)を課します。
 - ・専門教育の基礎となる学力を調べるために、個別学力検査(外国語)を課します。
 - ・面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力などを調べます。

2 経済学部の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

経済学部では、私たちの下で学んだ卒業生が次のような人に育つことを期待します。

- ① 自らの感性を生かし、すすんで問題を発見し、その解決方法を探究できる人
- ② 国際的視野をもち、社会に積極的に意見を発信し、貢献することができる人
- ③ 自らの教養と専門的知見を、卒業した後にも積極的に高めていくことができる人

経済学部では、次のような知識、能力などの獲得を目指した教育を行います。

- ① 社会科学に関する幅広い基礎知識と、各専門分野(経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策)についての体系的で深い専門的知識
- ② 疑問を学びにつなげ、目的に沿って学びをデザインする能力(必修科目「アカデミック・スキルズ」など)
- ③ 国際的視野に裏打ちされた対話能力(プレゼミ、演習など)
- ④ 自ら問題を発見・探求し、その成果を整合的にまとめ、効果的に発信できる能力(卒業研究)

経済学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべきことがらを幅広く修得し、入学後に必要な基礎学力を有している人
- ② 国内外の社会のさまざまな問題に対して旺盛な好奇心や知的関心をもち、それらを学ぶ意欲が高い人
- ③ 自分の将来像を思い描き、その中に経済学部で学ぶ意味を位置づけられる人
- ④ 幅広い教養と社会科学の専門的知見を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- ⑤ 自らの知識や経験を生かして、生涯にわたり自分自身をさらに発展させようと考えている人

経済学部では、入学する皆さんに次のような学修姿勢を期待します。

- (1) 基礎学力の修得
 - ・思考を明瞭にし、人に正しく伝える基礎的な力として、意味を明確に理解して使いこなせる豊かな語彙を蓄えること。

- ・断片的な知識の後ろにある一般的な論理や構造に関心を持ち、ある事柄が正しいと認めるときは、そのための条件や前提を合わせて理解すること。

(2) 国内外の社会への関心を養うこと

- ・社会の諸現象について、過去の例、他地域・他産業の例などとの比較の視点を持ち、そこから学べる点を自分の言葉にまとめ直して、すぐ取り出せるようにしておくこと。
- ・ひとつの問題を複数の立場（利害関心）や複数の社会的な望ましさからとらえ、それらの対立点を理解し、複合的に問題を見る練習をすること。

(3) 論理的思考力・表現力及びその基礎となる読解力の修得

- ・主張の根拠とその確からしさを意識し、相対的・客観的な見方によって議論を整理できるようになること。
- ・文章やデータなどの判断材料に基づき、正しいかどうかを客観的に判断する多様な方法を身につけ、具体的な問題に応用できるようになること。
- ・文章構成（論理の流れ、段落分けなど）を意識した、平明に論旨が伝わる文章が書けるようになること。

経済学部では、多様なバックグラウンドから上記のような条件に沿う入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜（前期日程）

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・専門知識を修得する学力を調べるために、国語、数学、外国語の教科について試験を課します。
- ・「国際プログラム枠」では、課題を与えて小論文を課します。社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性の観点から総合的に評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。

(3) 総合型選抜

- ・英語と国際化に関連する埼玉大学経済学部の教育を積極的に受け止め活用してくれることを期待して、国際化と英語に自己投資を済ませた学生、すなわち外部英語能力試験の成績優秀者を募集対象とします。
- ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- ・自己推薦書（志望の動機を含む）と調査書を基礎資料とした面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(4) 私費外国人留学生選抜

- ・出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などを選抜の基礎資料

とします。

- ・基礎的学力を調べるために、「日本留学試験」（日本語、数学、総合科目又は理科）を課します。
- ・課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から総合的に評価します。
- ・面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(5) 社会人選抜

- ・課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- ・面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

3 教育学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育学部では、次のような人に育つことを期待します。

教育学部は幼稚園（認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校で活躍する教員を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員としての幅広い知識・実践力という二つの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

- ① 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ② 教育に携わる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ③ 教育の諸分野（教育に関する諸分野・各教科に関する様々な学問）に関する専門的な知識・技能
- ④ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ⑤ 教育の場における高度な実践的指導力
- ⑥ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

教育学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力を育む教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ② 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ③ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ④ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人
- ⑤ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

教育学部では、広く全国の高等学校卒業生、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜（前期日程）

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じて国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課す課程・コース・専修等もあります。
- ・音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す課程・コース・専修等もあります。
- ・小論文を課す課程・コース・専修等もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・面接を課す課程・コース・専修等もあります。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解等を確認します。

(2) 学校推薦型選抜

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「各種調書」を活用し、総合的に評価します。
- ・基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課す課程・コース・専修等もあります。
- ・小論文を課す課程・コース・専修等もあります。小論文では思考力、理解力、表現力等を確認します。
- ・面接を課します。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解等を確認します。
- ・音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す課程・コース・専修等もあります。

(3) 私費外国人留学生選抜

- ・出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などを選抜の基礎資料とします。
- ・基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」（日本語、数学、総合科目又は理科）を課します。
- ・専門教育の基礎となる学力を調べるために、課程・コース・専修等及び専門領域に応じて、国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課します。
- ・音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す課程・コース・専修等もあります。
- ・小論文を課す課程・コース・専修等もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・面接を課します。面接では志望の動機等を確認し、特に日本語能力を重視します。
- ・専門領域に対する知識・理解、学修意欲を確認するために面接を課す課程・コース・専修等もあります。

4 理学部の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科（数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科）が設置されています。

理学部では、学士課程学生（以下、学生）が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へ向けて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見及び解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいは大学院に進

み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ① 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見及び解決能力
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等の授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ② 自然科学に対する幅広い基礎知識
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ③ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能
基盤科目群の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ④ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々との的確に意思疎通できるコミュニケーション能力
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ① 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意を持っていること。
- ② 「理学部の入学受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志を持っていること。
これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。
- ③ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる数学、理科について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語、国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。
- ④ 高等学校における数学、理科に関わる実験・演習、若しくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育くむために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

理学部では、広く全国の高等学校卒業生、外国人留学生などの中から、上記の育成目標を踏まえ、そのための学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜（前期日程）

- ・高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テスト5教科7科目を課します。
- ・数学科、物理学科、生体制御学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、各学科受験生に向けて個別学力試験として「総合問題」等を課します。学科ごとに、その専門分野に関連した自然科学

の内容について、論述式解答を求める出題を中心として、知識力・理解力を問うと共に、解答に至るまでの論理的な考え方、解答における表現力も評価します。また、「総合問題」では、英語の読解力と記述力が要求される場合もあります。

- ・分子生物学科では、学士課程で自ら志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。
 - ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- (2) 一般選抜（後期日程）
- ・高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テスト 5 教科 7 科目を課します。
 - ・数学科、物理学科、基礎化学科、分子生物学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、数学、理科（物理・化学・生物）の教科（組み合わせは学科により異なります）についての個別学力試験を課します。
 - ・生体制御学科では、課題を与えて小論文を課します。小論文では科学的な理解力、論理的な思考力や発想力、表現力などを評価します。
 - ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から評価します。
- (3) 総合型選抜（生体制御学科）
- ・受験者には指定された講義を受講した上で、講義終了後に小テストを課すとともに、後日レポート（課題）の提出を求めます。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力などを評価します。
 - ・面接を課します。面接では、生物学や英語の基礎学力に加えて、コミュニケーション能力並びに主体性を評価します。
 - ・選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望理由書」、「活動報告書」、各講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的にを行います。
- (4) 学校推薦型選抜（基礎化学科）
- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「推薦書」を活用し、総合的に評価します。
 - ・高等学校において修得した数学、理科及び英語の基礎的な学力を検査するために大学入学共通テスト 3 教科 5 科目を課します。
 - ・学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。
- (5) 私費外国人留学生選抜
- ・出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を活用し、総合的に評価します。
 - ・基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」（日本語・数学・理科）を課します。
 - ・専門教育の基礎となる学力を調べるために、個別学力試験を課します。
 - ・面接を課し、一般的学力（高等学校卒業レベル）及び日本語能力を確認します。また、学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。加えて理解力、論理的思考力を確認します。

5 工学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム（学科）で構成されています。また、専門教育におい

て修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ① 人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ② 工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ③ 課題を探求・発見し解決する実践的能力
- ④ 国際的視野とコミュニケーション能力
- ⑤ 多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ⑥ 科学技術が社会や自然に及ぼす影響、技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ② 国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ③ 知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ④ 工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学修意欲のある人
- ⑤ 専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ⑥ 問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ⑦ 幅広い分野・世代の人との議論及び共同作業によって目的を達成する意欲を有する人

工学部では、広く全国の高等学校卒業者、帰国子女、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

- (1) 一般選抜（前期日程）
- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・表現力、主体性を総合的に調べるために、小論文を課します。
 - ・4 学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・1 学科では、専門基礎知識、理解力、論理的思考力を総合的に調べるために、総合問題を課します。
- (2) 一般選抜（後期日程）
- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から評価します。
 - ・基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・専門教育の基礎として必要な知識、及び理解力、論理的思考力、表現力を調べるために、数学と理科の教科についての試験を課します。
- (3) 総合型選抜（情報工学科）
- ・埼玉大学の講義を受講した上で、講義時に出题される課題に対するレポート、講義終了時に行われる小テストを課します。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識と、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力を確認します。
 - ・面接を課します。面接では、数学・英語の基礎学力に加えて、主体性、表現力及びプレゼンテーション能力を評価します。
 - ・選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望の理由」、毎回の講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的にを行います。
- (4) 学校推薦型選抜（環境社会デザイン学科）
- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」

- ・「自己アピール」・「活動実績」を活用し、総合的に評価します。
 - ・面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
 - ・小論文を課します。小論文では理解力、論理的な思考力や表現力などを評価します。
- (5) 帰国子女選抜
- ・出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力（高等学校卒業レベル）と語学力を確認します。
- (6) 私費外国人留学生選抜
- ・出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」（日本語、数学、理科）を課します。
 - ・3学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力（高等学校卒業レベル）と語学力を確認します。

IV 一般選抜

1 出願資格

学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、かつ、令和3年度大学入学共通テストのうち、志望する学部・学科等が指定する教科・科目（17頁～42頁を参照）のすべてを受験した者です。

なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別学力検査等の受験はできません。

2 合否判定基準

- (1) あらかじめ決められた配点により、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績の総合点順、並びに次の合否判定基準により合否を判定します。

① 前期日程

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	総合点が同点の場合は同順位とします。
経済学部(昼間コース)	総合点が同点の場合は同順位とします。
教 育 学 部	総合点が同点の場合は同順位とします。 小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野において、実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの数学の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の得点、大学入学共通テストの数学の得点が同点の場合は同順位とします。 物理学科、分子生物学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は同順位とします。 基礎化学科において、大学入学共通テストの総合点が同点の場合は、理科の得点の高い者を上位とします。理科の得点が同点の場合は同順位とします。 生体制御学科において、総合点が同点の場合は、同順位とします。
工 学 部	総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点の高い者を上位とします。総合点、大学入学共通テストの得点が同点の場合は同順位とします。

ただし、これにより、合否ラインで総合点が同点・同順位となった場合に限り、(2)により合否を判定します。

② 後期日程

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	総合点が同点の場合は同順位とします。
経済学部(昼間コース)	総合点が同点の場合は同順位とします。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの数学の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の得点、大学入学共通テストの数学の得点が同点の場合は同順位とします。 物理学科、分子生物学科、生体制御学科において、総合点が同点の場合は同順位とします。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、個別学力検査の理科の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の理科の得点が同点の場合は同順位とします。
工 学 部	総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とします。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は同順位とします。

ただし、これにより、合否ラインで総合点が同点・同順位となった場合に限り、(2)により合否を判定します。

(2) 調査書を活用し順位を決定します。調査書は主体性・多様性・協調性の観点から総合的に評価します。調査書を提出することができない受験者は、「主体性等に関する自己申告書」(A4サイズ1枚、任意様式、書類上部に氏名と生年月日を明記)を提出してください。過去3年以内に、主体的・自発的に行った活動、多様な人々と協働して行った活動等に関する記述を求めます。

なお、評価にあたっては、今般の新型コロナウイルス感染症拡大により学習や活動等に大きな制限がかかっていることから、調査書(「主体性等に関する自己申告書」を含む)の内容にも影響があることを考慮し、受験者に不利益が生じないよう評価します。

3 募集方法等

A 分離分割方式及び併願について

(1) 教養学部、経済学部(昼間コース)、理学部、工学部は、分離分割方式の「前期日程」と「後期日程」とに分けて募集し、各日程ごとに合格者を決定します。教育学部は、分離分割方式の「前期日程」のみ募集し、合格者を決定します。

※ 経済学部(夜間主コース)は、社会人選抜で募集します。(内容については61頁を参照してください。)

(2) 学内併願

本学の前期日程の学部・学科等と後期日程の学部・学科等との併願は、すべて可能とします。

(3) 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。)の併願について

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>)

併願できる組合せ	「前期－後期－中期」
併願できない組合せ	「前期－前期」、「後期－後期」、 「中期－中期」

B 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の出題教科・科目、配点等

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教養学部 教養学科	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の7科目の中から2科目選択（※）「公民」から2科目選択はできません。	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目選択、又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
		外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
		〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕			
	後期	前期日程と同じです			その他 小論文（詳細は47頁を参照してください。）

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目と、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目選択した場合には、基礎を付した2科目を利用します。
(注4) 物理、化学、生物、地学の4科目から2科目を選択した場合には、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接			配点合計
前期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	学校推薦 帰国子女 私費	実施しません
	個別学力検査					300					300		
	計	200	200	200	100	500					1200		
後期	共通テスト	200	100	100	100	300 (注3)					1000		
	個別学力検査						200				200		
	計	200	200	200	100	300	200				1200		

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 前期日程において、共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2=200点」に換算します。特例追試験受験者（リスニング免除者除く）については、「〔筆記（200点）+リスニング（50点）〕×0.8=200点」に換算します。
(注3) 後期日程において、共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4×1.5=300点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング（100点）×3=300点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記（200点）×1.5=300点」に換算します。特例追試験受験者（リスニング免除者除く）については、「〔筆記（200点）+リスニング（50点）〕×1.2=300点」に換算します。特例追試験受験者（リスニング免除者）については、「筆記（200点）×1.5=300点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
経済学部 (昼間コース) 経済学科	前期 (国際プログラム枠)	国語	国語	必須	その他	小論文(詳細は46頁を参照してください。)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の4科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。			
		公民	『倫理, 政治・経済』(注4)				
		外国語	英語(リーディング及びリスニング)				
		[3教科3科目]					
	前期 (一般選抜枠)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B(近代以降の文章)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の5科目の中から2科目選択(※)公民から2科目選択することはできません。	数学	数学I・数学II・数学A・数学B(数列, ベクトル)	
		公民	現代社会, 『倫理, 政治・経済』(注4)				
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)	
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 「基礎を付した科目」を2科目及び「基礎を付していない科目」を1科目受験した場合、「基礎を付した科目」の成績を採用します。 「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合、「第1解答科目」の成績を採用します。			
	外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]			上記の3教科から2教科選択します。			
	後期	前期日程(一般選抜枠)と同じです。				その他	小論文(詳細は47頁を参照してください。)

(注1) 経済学部(夜間主コース)は、社会人選抜(入学定員15人)で募集します。
(注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指します。
(注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理, 化学, 生物, 地学を指します。
(注4) 『倫理』および『政治・経済』のいずれかを指すものではなく、『倫理, 政治・経済』の1科目を指します。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接		
前期 (国際プログラム枠)	共通テスト	150 (近代以降の文章)	200				400 (注2)				800	私費
		50 (古文・漢文)										
	個別学力検査					200				200		
	計	200	200			400	200			1000		
前期 (一般選抜枠)	共通テスト	200	100	100	100	200 (注3)					900	
			100	100								
	個別学力検査	*250 (注4)		*250 (注4)		*250 (注4)					500	
	計	*450	200	*450	100	*450					1400	
後期	共通テストⅠ (注5)	100	50	150	50	350 (注5)					900	
			50	150								
	個別学力検査						300				300	
	計	100	100	300	50	350	300				1200	
	共通テストⅡ (注5)	300	50	50	50	350 (注5)					900	
			50	50								
個別学力検査						300				300		
計	300	100	100	50	350	300				1200		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 前期日程(国際プログラム枠)における共通テストの外国語(英語)の配点は、
「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5」×2=400点に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×4=400点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「筆記(200点)+リスニング(50点)」×1.6=400点に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×2=400点」に換算します。
(注3) 前期日程(一般選抜枠)において、共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「筆記(200点)+リスニング(50点)」×0.8=200点に換算します。
(注4) 個別学力検査は、国語・数学・外国語の3教科から2教科を出願時に選択し受験します。なお、3教科の得点については、中央値補正法による調整を行います。
(注5) 経済学部の後期日程は、IとIIの方式で採点し、高得点の方を採用します。I・IIとも共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5」×1.75=350点に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3.5=350点」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.75=350点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「筆記(200点)+リスニング(50点)」×1.4=350点に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×1.75=350点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等			
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等		
教育学部 小学校教員養成課程	文系	前期	国語	国語	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	
			地歴	世界史B、日本史B、地理B			必須 ①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁（注4）参照]
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。[21頁（注3）の①、②参照] （※）「公民」から2科目選択はできません。
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学			上記の①若しくは②のパターンを選択します。[21頁（注3）の①、②参照] （※）「公民」から2科目選択はできません。
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B			左の2科目必須
	外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕						
	理系	前期	国語	国語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列、ベクトル）	
			地歴	世界史B、日本史B、地理B			必須 ①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁（注4）参照]
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。[21頁（注3）の①、②参照] （※）「公民」から2科目選択はできません。
理科			物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。[21頁（注3）の①、②参照] （※）「公民」から2科目選択はできません。			
数学			数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択					
〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕							
上記の2教科から1教科選択します。							

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、下記の通りとします。
① 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、「地歴及び公民」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用します。
② 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、「地歴及び公民」並びに「基礎を付していない科目」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用します。
③ 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。
④ 「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
⑤ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
(注4) 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）を選択することができます。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)					900	学校推薦と私費の募集単位は、2頁を参照してください。	実施しません
	個別学力検査				100			500					500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)					900	学校推薦と私費の募集単位は、2頁を参照してください。	実施しません
	個別学力検査				500 (注3)	500 (注3)						500			
	計	200	*100	*100	700 または 200	*600 または *100	*600 または *100	200					1400		

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2=200点」に換算します。
特別追試験受験者（リスニング免除者除く）については、「〔筆記（200点）+リスニング（50点）〕×0.8=200点」に換算します。
(注3) 個別学力検査は、数学・理科の2教科から1教科を出願時に選択し受験します。なお、2教科の得点については、中央値補正法による調整を行います。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 小学校教育 実技系 音楽 小学校コース 教育教員養成課程	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁(注4)参照]		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。		
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]			
	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁(注4)参照]		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。		
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]			
	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査	
地歴		世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁(注4)参照]			
公民		現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択			
理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。			
数学		数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
外国語		英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 と私費の 募集単位 は、2頁 を参照し てくださ い。	実施し ません
	個別学力検査								500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200		500	1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 と私費の 募集単位 は、2頁 を参照し てくださ い。	実施し ません
	個別学力検査								500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200		500	1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 の募集単 位は、2 頁を参照 してくだ さい。	実施し ません
	個別学力検査								500 (注3)	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200		500	1400		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「筆記(200点)+リスニング(50点)×0.8=200点」
に換算します。
(注3) 小学校コース実技系体育分野の配点は、第1得意種目関連250点、第2得意種目関連250点とします。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部 中学校教員養成課程 中学校コース	言語文化 (国語)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B・古典B
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 [21頁(注3)の③, ④参照]		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]					
	言語文化 (英語)	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』」から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「『基礎を付していない科目』」から2科目選択 [21頁(注4)参照]		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』」から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。		
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
外国語		英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]						
社会	国語	国語	必須	その他	小論文(詳細は46頁を参照してください。)	
	地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできません。			
	公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
	数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須			
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 [21頁(注3)の③, ④参照]			
	外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]						

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	共通テスト	200	100		100	100		200 (注2)					900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査	500	100		100								500		
	計	700	200		200	100		200					1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100	*100	*100	200 (注2)					900	学校推薦 私費	
	個別学力検査				100			500					500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	共通テスト	200	200		100	100		200 (注2)					1100	学校推薦 私費	
	個別学力検査		200		100				300				300		
	計	200	400		200	100		200	300				1400		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特別追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部 中学校教員養成課程	前期	自然科学(数学)	国語	国語	必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B		左の「地歴及び公民」から1科目選択 [21頁(注3)の⑤参照]	
公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』					
数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須			
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学		左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]			
外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択			
[5教科7科目], [5教科8科目]						
自然科学(理科)	前期	自然科学(理科)	国語	国語	必須	理科 ①物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし、①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B		左の「地歴及び公民」から1科目選択 [21頁(注3)の⑤参照]	
公民		現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
数学		数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学		左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]		
外国語		英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
[5教科7科目], [5教科8科目]						

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理, 化学, 生物, 地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接		
前期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	学校推薦 私費
				100	100							
	個別学力検査			500							500	
計	200	100	700	200	200					1400		
前期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	学校推薦 私費
				100	100							
	個別学力検査				500						500	
計	200	100	200	700	200					1400		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「筆記(200点)+リスニング(50点)×0.8=200点」に換算します。

実施しません

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		特別選抜	2段階選抜
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等			
教育学部 中学校コース 学校教育教員養成課程	芸術 (音楽)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査		学校推薦 私費
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須				
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択				
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
	芸術 (美術)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査		学校推薦 私費
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須				
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択				
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
身体文化 (保健体育)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査		学校推薦 私費	
	地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]					
	公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。					
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須					
	数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択					
	外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]					

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査									500	500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査									500	500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200 (注2)			900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査									500 (注3)	500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。
(注3) 中学校コース身体文化専修保健体育分野実技の配点は、第1得意種目関連350点、第2得意種目関連150点とします。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教育学部 中学校教育教員養成課程	生活創造(技術)	国語	国語	必須	その他 面接(詳細は46頁を参照してください。)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 [21頁(注3)の⑤参照]	
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択 [21頁(注4)参照]	
	外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
	〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕				
	生活創造(家庭科)	国語	国語	必須	外国語 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁(注4)参照]	
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁(注3)の①, ②参照] (※)「公民」から2科目選択はできません。		
数学		数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜			
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題			実技	面接	配点合計
前期	共通テスト	200	100		100	100		200 (注2)					900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査										500	500			
	計	200	100		200	200		200				500	1400		
前期	共通テスト	250	*150	*150	150	*150	*150	150 (注3)					1150	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査							250				250			
	計	250	*150	*150	300	*150	*150	400					1400		

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。
(注3) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×0.75=150点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×1.5=150点」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×0.75=150点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.6=150点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×0.75=150点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		教科等	科目名等
		教科科目名等		利用方法				
教育学部 乳幼児教育コース 学校教育教員養成課程	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）		
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 （※）「公民」から2科目選択はできません。				
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 [21頁（注3）の③、④参照]				
	外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択					
	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕							
	特別支援教育コース	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）		
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁（注4）参照]				
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁（注3）の①、②参照]				
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	（※）「公民」から2科目選択はできません。				
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
	外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択					
	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕							
	養護教諭養成課程	国語	国語	必須	その他	面接（詳細は46頁を参照してください。）		
地歴		世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 [21頁（注4）参照]					
公民		現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択 上記の①若しくは②のパターンを選択します。 [21頁（注3）の①、②参照]					
理科		物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	（※）「公民」から2科目選択はできません。					
数学		数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須					
外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択						
〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕								

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、21頁の(注3)を参照してください。

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	共通テスト	200	100		100	100		200 (注2)					900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査							500					500		
	計	200	200		200	100		700					1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200 (注2)					900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査							500					500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	共通テスト	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200 (注2)					900	学校推薦 私費	実施しません
	個別学力検査										500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200				500	1400		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。選択教科には*印を付しました。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2=200点」に換算します。
特別追試験受験者（リスニング免除者除く）については、「筆記（200点）+リスニング（50点）×0.8=200点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
理学部 数学科	前期	国語	国語	必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)	
		地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 〔5教科7科目〕	左の5科目の中から1科目選択		
	後期	前期日程と同じです。				
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)			
	後期	理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1科目を選択します。			
		前期日程と同じです。				
	物理学科	前期	国語	国語	必須	その他 総合問題(物理, 数学及び英語に関する総合問題を出題します。前提とする物理及び数学の知識は, それぞれ高等学校における物理基礎・物理及び数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列, ベクトル)にわたります。また, 英語の読解力と記述力が要求されます。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
公民			現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
数学			数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
理科			物理	必須		
外国語			英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 〔5教科7科目〕	左の5科目の中から1科目選択		
後期		前期日程と同じです。				
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)			
後期		理科	物理基礎・物理			
		前期日程と同じです。				
基礎化学科		前期	国語	国語	必須	個別学力検査等は課しません。
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
	公民		現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
	数学		数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
	理科		化学	必須		
	外国語		英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 〔5教科7科目〕	左の5科目の中から1科目選択		
	後期	前期日程と同じです。				
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)			
	後期	理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1科目を選択します。			
		前期日程と同じです。				

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接		
前期	共通テスト	200	100	150	100	200 (注2)					1000	私費
				150	100							
	個別学力検査			1000							1000	
	計	200	100	1300	200	200					2000	
後期	共通テスト	200	100	150	100	200 (注2)					1000	私費
				150	100							
	個別学力検査			800	200						1000	
	計	200	100	1100	400	200					2000	
前期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	私費
				100	100							
	個別学力検査						400				400	
	計	200	100	200	200	200		400			1300	
後期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	私費
				100	100							
	個別学力検査			400	400						800	
	計	200	100	600	600	200					1700	
前期	共通テスト	200	100	200	300	200 (注2)					1500	学校推薦 私費
				200	300							
	個別学力検査											
	計	200	100	400	600	200					1500	
後期	共通テスト	200	100	100	100	200 (注2)					900	私費
				100	100							
	個別学力検査			400	1200						1600	
	計	200	100	600	1400	200					2500	

(注1) 共通テストの配点にあたっては, 上記掲載の配点に換算します。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合,
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については, 「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特別追試験受験者(リスニング免除者除く)については, 「【筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
理学部 分子生物学科	前期	国語	国語	必須	その他 面接（詳細は46頁を参照してください。）	
		地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			[5教科7科目]			
	後期			前期日程と同じです。	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	
					理科 物理基礎・物理と化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択します。	
	生体制御学科	前期	国語	国語	必須	その他 総合問題(生物学を中心とした自然科学的内容についての理解力, 思考力, 表現力等を総合的に評価します。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
数学			数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
理科			物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
外国語			英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			[5教科7科目]			
後期				前期日程と同じです。	その他 小論文(詳細は47頁を参照してください。)	

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接		
前期	共通テスト	200	100	100	200	300(注2)					1200	私費
				100	200							
	個別学力検査								200	200		
	計	200	100	200	400	300			200	1400		
後期	共通テスト	200	100	100	200	300(注2)					1200	総合私費
				100	200							
	個別学力検査			200	300					500		
	計	200	100	400	700	300				1700		
前期	共通テスト	200	100	100	200	300(注2)					1200	総合私費
				100	200							
	個別学力検査							400		400		
	計	200	100	200	400	300		400		1600		
後期	共通テスト	200	100	200	200	400(注3)					1500	総合私費
				200	200							
	個別学力検査							300		300		
	計	200	100	400	400	400	300			1800		

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×1.5=300点」に換算します。
リスニング免除者については、「[リーディング(100点)×3=300点]」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×1.2=300点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
- (注3) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×2=400点」に換算します。
リスニング免除者については、「[リーディング(100点)×4=400点]」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×2=400点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×1.6=400点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×2=400点」に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		特別選抜	2段階選抜	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等			
工学部 機械工学・システムデザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ・数学Ⅵ (数列, ベクトル)	帰国子女 私費		
		地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。					
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』						
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須					
		理科	物理	必須					
			化学, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択					
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択					
	〔5教科7科目〕								
	後期	前期日程と同じです。			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)			
					理科	物理基礎・物理			
電気電子物理工学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)	帰国子女 私費		
		地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。					
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』						
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須					
		理科	物理	必須					
			化学, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択					
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択					
	〔5教科7科目〕								
	後期	前期日程と同じです。			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)			
					理科	物理基礎・物理			
情報工学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)	総合 帰国子女 私費		
		地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。					
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』						
		数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須					
		理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択					
			外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語					左の5科目の中から1科目選択
		〔5教科7科目〕							
	後期	前期日程と同じです。			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)			
					理科	物理基礎・物理			

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接			配点合計
前期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	帰国子女 私費	
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	帰国子女 私費	
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	総合 帰国子女 私費	
	個別学力検査			200			100				300		
	計	100	100	400	200	200	100				1100		
後期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	総合 帰国子女 私費	
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	総合 帰国子女 私費	
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	共通テスト	100	100	100	100	200 (注2)					800	総合 帰国子女 私費	
	個別学力検査			300	300						600		
	計	100	100	500	500	200					1400		

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。
令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」
に換算します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
工学部 応用化学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	その他	総合問題(化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、及び英語読解力等を総合的に評価します。)
		地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	化学	必須		
			物理、生物	左の2科目の中から1科目選択		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じです。			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)
					理科	化学基礎・化学
環境社会デザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	その他	小論文(詳細は46頁を参照してください。)
		地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択(※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理	必須		
			化学、生物、地学	左の3科目の中から1科目選択		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じです。			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)
					理科	物理基礎・物理

区分・日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別選抜	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接		
前期	共通テスト	100	100	100	200(化学)	200(注2)					900	帰国子女 私費
				100	100(物理又は生物)							
	個別学力検査						100	300			400	
計	100	100	200	300	200	100	300				1300	
後期	共通テスト	100	100	100	200(化学)	200(注2)					900	学校推薦 帰国子女 私費
				100	100(物理又は生物)							
	個別学力検査			100	600						700	
計	100	100	300	900	200						1600	
前期	共通テスト	100	100	100	100	200(注2)					800	学校推薦 帰国子女 私費
				100	100							
	個別学力検査			200			100				300	
計	100	100	400	200	200	100					1100	
後期	共通テスト	100	100	100	100	300(注3)					900	実施しません
				100	100							
	個別学力検査			200	200						400	
計	100	100	400	400	300						1300	

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和3年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「〔筆記(200点)+リスニング(50点)〕×0.8=200点」に換算します。
- (注3) 共通テストの外国語で英語を選択した場合、
「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4」×1.5=300点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3=300点」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「〔筆記(200点)+リスニング(50点)〕×1.2=300点」に換算します。
特例追試験受験者(リスニング免除者)については、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。

C 実技検査

音楽実技 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

検査項目

【前期日程】

次のA)、B)を全員が受験します。A)、B)とも録画審査とします。録画のファイル形式は、MP4、MOV、AVCHD、AVC/H.264、MPEG-4 のいずれかとし、DVD ディスクまたは Blu-ray ディスクに書き込み、ファイナライズして提出してください。ディスクに出願者の氏名を記入してください。画面は横長とし、録画の冒頭に真正面を向いて氏名を名乗り、続いてA) B) 1.または2.イ.ロ.の順で録画してください。マスクや帽子等は着用せず、化粧はしないでください。

演奏中の顔と手元を画面に入れ、なるべく出願者を大きく写した鮮明な画質・音質のものとしてください。ただし、加工はしないでください。

映像は令和2年11月26日以降に撮影されたものとしします。

DVD ディスクまたは Blu-ray ディスクで対応できない場合は、USB メモリも可とします。録画ファイルを提出することができない場合は、事前に埼玉大学教育学部係 (TEL:048-858-3144) にご相談ください。なお、「音楽実技検査に関する調書」を出願書類、DVD 等と同時に提出してください。

A) 声楽：次の歌曲の中から、任意の1曲を選び、原語・暗譜で歌唱し録画してください。

- ・A. カルダラ (Caldara) 作曲 : Selve amiche
- ・F. ドゥランテ (Durante) 作曲 : Vergin, tutto amor
- ・G. ジョルダニ (Giordani) 作曲 : Caro mio ben
- ・信時潔作曲 : 行々子

〔注〕①「音楽実技検査に関する調書」の所定の欄に選んだ曲名を記入してください。提出された曲の変更は認めません。

②伴奏は、各自が用意した音源によります。伴奏者の場合は、本学在生と教職員は除き、各自で用意してください。

B) 器楽：次の1または2のどちらか1つを選択して録画します。ただし2の場合は、イとロの両方を録画してください。

1. 次の作曲家のピアノソナタの中から任意の楽章（複数でもよい）を暗譜で演奏します。複数の楽章を演奏する場合は、同一の作品から選んでください。演奏時間は**3分以上**とします。繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。

- ・J. ハイドン
- ・W. A. モーツァルト
- ・L. van ベーターヴェン

2. 次のイとロの両方を録画します。特にイは、受験する楽器によって課題が異なるので注意してください。

イ. 次の楽器の中から1つを選び、下記の指示に従って演奏します。音階以外は視奏も可とします。繰り返しは省略してください。

フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

【管楽器で受験する者】

フルートで受験する者は、次の〈課題1〉と〈課題2〉を演奏します。フルート以外の管楽器で受験する者は、〈課題1〉と〈課題3〉を演奏します。

〈課題1〉(管楽器共通)

任意の1つの長調、または短調の音階を2オクターヴ演奏します。上行形と下行形を続けて暗譜で演奏します。テンポ、リズム、アーティキュレーションは自由とします。短調の場合は和声的短音階とします。

〈課題2〉(フルートで受験する者のみ)

E. ケーラー：「35の練習曲」op. 33 の第1巻(15 Easy Exercises) 及び第2巻(12 Medium Difficult Exercises) (版は指定しない) の中から任意の曲、または同程度の練習曲、独奏曲を選び**4分以上8分程度まで**演奏します。曲数は問いません。

〈課題3〉(フルート以外の管楽器で受験する者のみ)

任意の独奏曲を選び**4分以上8分程度まで**演奏します。曲数は問いません。

【弦楽器で受験する者】

任意の独奏曲を選び**4分以上8分程度まで**演奏します。曲数は問いません。

ロ. J. S. バッハ：「2声のインヴェンション」より任意の1曲をピアノで演奏します。繰り返しは省略し、また暗譜とします。

〔注〕①伴奏はつけません。

②演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出してください。提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。

ピアノ及び音階の楽譜の提出は不要です。提出した楽譜は返却されません。

③ピアノについては、B) 1、B) 2の口とも、電子楽器ではなく、ピアノを使用してください。

④複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに録画してください。

美術実技 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系図画工作分野及び中学校コース芸術専修美術分野を志望する者

検査項目

【前期日程】

木炭による静物デッサン (試験時間：3時間) サイズ：木炭紙大

静物：卓上に置かれた単体のモチーフ

〔注〕① 画用木炭、消し具は各自持参してください。

② 画板、イーゼル、木炭紙 (MBM)、下敷用紙は本学で用意します。

③ はかり棒、構図フレーム等は使用しても構いません。

体育実技 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

検査項目

【前期日程】

下表の運動種目の実技及びスポーツ活動に関する調書

領域	種 目	第1得意種目としての内容	第2得意種目としての内容
1	陸 上 競 技	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価します。100m走は、土のグラウンド (使用できない場合ゴムシート上) でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。砲丸投げは、高校用砲丸 (男子6kg、女子4kg) を投てきます。なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価します。100m走は、土のグラウンド (使用できない場合ゴムシート上) でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。走り幅跳びはゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。砲丸投げは、高校用砲丸 (男子6kg、女子4kg) を投てきます。なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。
2	バレーボール	下記の全てを行います。 ・2人組のパス ・レセプション (サーブレシーブ) ・アタック ・ポジション別の課題 ・4人対4人のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)	下記の全てを行います。 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・アタック
	バスケットボール	・バスケットボールの個人技能をみま ず (ディフェンスがない状態で自 分の得意なシュートいくつかを行 います)。 ・パス&ランを基本としたハーフコ ートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコ ートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変える ことがあります)	・バスケットボールの個人技能1 (バ ックボードにボールを当てて左右に 移動する回数をみます) ・バスケットボールの個人技能2 (ラ ンニングシュートを左右から行いま す。その際両手を使うようにします) ・ディフェンスのいない状態で、パス を受けてから自分の得意なシュート をいくつか行います。
	サッカー	・ボールコントロール ・パス&コントロール ・「2対2」の攻防 (GK有) ・「4対4」のゲーム (人数によって、やり方を変えるこ とがあります)	・パス&コントロール ・ボールコントロールからシュート

3	ダンス	創作ダンス作品の演技（3分以内）。 ・作品のタイトル・テーマは自由。 ・音楽(CDに限ります)を持参して使用してもよいです（プレイヤーは大学で用意）。 ・衣装は自由（スカート、上着など簡単な衣装をつけてもよいです）。	創作ダンスあるいは現代的なリズムのダンスの演技（1分30秒以内） *創作ダンスの演技 ・作品のタイトル・テーマは自由 ・音楽(CDに限ります)を持参して使用してもよいです（プレイヤーは大学で用意）。 *現代的なリズムのダンスの演技 ・ロックまたはヒップホップのリズムから1つ選び、持参した音楽(CD)に合わせて踊ってください（プレイヤーは大学で用意）。
	器械運動	マット運動において、5技以上で演技を構成し実施します。 マット運動は12mのマットを往復します。	マット運動において、5技で演技を構成し実施します。 マット運動は12mのマットを往復します。
<p>1から3の領域の中から、第1得意種目を1種目と第2得意種目を2種目選択し、合計3種目受験します。ただし、これらの3種目は異なる領域から選ばなければなりません。</p> <p>陸上競技は、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあります。 各種目の専用シューズを使用してもよいです。</p>			
スポーツ活動に関する調書		出身学校長の作成したスポーツ活動に関する調書（本学指定の用紙）は実技検査に併せて評価します。高等学校卒業程度認定試験合格者については、志願者本人が記載したスポーツ活動の記録（前記の調書に記入）に基づいて評価します。調書に記載された事項について、それを証明できる書類（大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点）がある場合は、その写しを添付してください。	

D 面接・小論文

(1) 面接の内容について(前期日程)

学部	課程・コース等	検査項目	面接形式	採点・評価基準
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 生活創造専修 技術分野	面接（技術に関する口頭試問を含みます。）	個人面接及び課題についてのグループディスカッションを行います。面接員は複数です。	口頭による質問及びグループ討議により、学問一般、技術に関する意欲、関心、知識、理解、及び技能等を総合的に評価します。
	養護教諭養成課程	面接（保健に関する口頭試問を含みます。）	集団面接を行います。面接員は複数です。	保健についての知識・理解、思考力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価します。
理学部	分子生物学科	面接（分子生物学や自然科学一般に関する口頭試問を含みます。）	個人面接を行います。面接員は複数です。	生命現象を分子レベルで学ぶ意欲や、主体性、思考力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。

(2) 小論文の出題意図等について(前期日程)

学部	学科	出題意図	採点・評価基準
経済学部	経済学科(国際プログラム枠)	社会科学に対する関心と論理的思考力、学修意欲等を問います。	知識、思考力、主体性の観点から総合的に評価します。
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 社会専修	社会的事象に対する関心、論理的思考力等を問います。	思考力、判断力、表現力を評価します。
工学部	全学科	社会や工学に関する関心、学びの意欲、あるいは多様性の中で協力しながら活動する力を問います。	主体性、多様性への対応、協働性の観点を重視して評価します。

(3) 小論文の出題意図等について(後期日程)

学部	学 科	出 題 意 図	採 点 ・ 評 価 基 準
教養学部	教養学科	社会や文化について書かれた日本語の課題文を与え、それに関する設問に対して論述形式で解答させ、理解力、論理的考察力・構成力、表現力を問います。	理解力、論理的考察力・構成力、表現力、主体性を評価します。
経済学部	経済学科	課題文やデータの内容を正確に読み取って要約する能力や、それを踏まえて自らの考えを論理的、説得的に表現する能力を問います。	知識、思考力、主体性の観点から総合的に評価します。
理学部	生体制御学科	高等学校レベルの生物学的知識に基づく設問に対して論述形式で解答させ、科学的理解力と考察力、論理的な文章作成能力を問います。	生物学に関する理解力、考察力、論理的かつ科学的な文章作成能力を評価します。

V 特別選抜

1 総合型選抜

理学部

- 1) 総合型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
生体制御学科	4名

- 2) 出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和3年3月に卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において生物（又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎は含みません。」）を既修又は出願時に履修中の者

<注意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願することができます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」に出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

- 3) 出願期間：令和2年9月15日（火）～令和2年9月18日（金）（期間内郵送必着）

- 4) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト試験を免除し、以下の方法により行います。

出願者が一定数を超えた場合には、出願時に提出された調査書、志望理由書及び活動報告書により第1次選考を実施し12名を選考します。第1次選考を実施した場合は、令和2年10月2日（金）以降、出願者全員に合否通知書及び必要書類を送付します。

なお、電話による合否結果の問合せには一切応じません。

受験者（第1次選考実施の場合は、合格した受験者）は、埼玉大学構内で行なわれる講義を2回（令和2年10月16日、10月23日の、各々16時30分から17時30分までの講義）を受講し、毎回の講義終了時に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後に、理解力を知るため、小テスト(20分程度)を行います。

選抜は、出願時に提出された調査書・志望理由書及び活動報告書、毎回の講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポート、及び11月14日（土）に行う面接(生物学、英語の口頭試問を含みます。)により総合的に行います。

区分	検査日時	検査内容	配点	備考（レポート提出期限等）
講 義	令和2年10月16日（金）	レポート	10	令和2年10月23日（金） 17時00分まで 提出先：理学部係 （郵送の場合は期限必着）
	講義：16時30分から17時30分 小テスト：17時30分から 17時50分	小テスト	10	
	令和2年10月23日（金）	レポート	10	令和2年10月30日（金） 17時00分まで 提出先：理学部係 （郵送の場合は期限必着）
	講義：16時30分から17時30分 小テスト：17時30分から 17時50分	小テスト	10	
面 接	令和2年11月14日（土） 13時00分から	面接	60	生物学、英語の口頭試問を含みます。

- 5) 合格発表：令和2年12月1日（火）

工学部

1) 総合型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
情報工学科	5名

2) 出願資格

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和3年3月に卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における理数系の成績（調査書中、数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、又は数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bの内容を含む科目）と理科の評定平均値）の平均が4.3以上であり、かつ数Ⅲの内容を含む科目及び物理の内容を含む科目（ただし、「物理基礎」は含みません。）を既修又は出願時に履修している者
- (3) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書中、学習成績概評がB以上の者

<注意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願することができます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」に出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

3) 出願期間：令和2年9月15日（火）～令和2年9月18日（金）（期間内郵送必着）

4) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。

出願者が20名を超えた場合には、出願時に提出された志望の理由、調査書により第1次選考を実施し20名を選考します。第1次選考を実施した場合は、令和2年10月2日（金）以降、出願者全員に可否通知書及び必要書類を送付します。

なお、電話による可否結果の問合せには一切応じません。

受験者（第1次選考実施の場合は、合格した受験者）は、「情報システム工学入門」の講義（1時間20分）を3回（令和2年10月23日、10月30日、11月6日の、各々16時30分から17時50分までの講義）受講し、毎回の講義終了後に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。

選抜は、出願時に提出された志望の理由・調査書、課題に対して提出されたレポート、及び10月17日（土）に行う面接（英語、数学の口頭試問を含みます。）により総合的に行います。

区分	検査日時	検査内容	配点	備考（レポート提出期限等）
面接	令和2年10月17日（土） 13時から	面接	60	英語、数学の口頭試問を含みます。
講義 （※）	令和2年10月23日（金） 講義：16時30分から17時50分	レポート	40	令和2年10月30日（金） 郵送（当日消印有効） 提出先：工学部係
	令和2年10月30日（金） 講義：16時30分から17時50分	レポート		令和2年11月6日（金） 郵送（当日消印有効） 提出先：工学部係
	令和2年11月6日（金） 講義：16時30分から17時50分	レポート		令和2年11月13日（金） 郵送（当日消印有効） 提出先：工学部係

※講義はオンラインで実施します。詳細は、受験者（第1次選考実施の場合は、合格した受験者）に書類を送付します。

5) 合格発表：令和2年12月1日（火）

2 学校推薦型選抜

教養学部

1) 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
教養学科	20名

2) 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3) 推薦対象者

以下の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全科目の評定平均値が4.3以上の者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4) 出願期間：令和2年11月2日（月）～ 5日（木）（期間内郵送必着）

5) 選抜期日：令和2年11月14日（土）

6) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文及び面接によります。

※「志望の理由」は、教養学部教養学科を志望する理由を自由に記述してください。

面接の際の資料とします。

配点	小論文	面接
	100	100

7) 合格発表：令和2年12月1日（火）

1) 学校推薦型選抜を実施する募集単位等及び募集人員

募集単位等		募集人員			
学校教育 教員養成課程 小学校 コース	(教育学に関心を持つ者)	(注1)	62	(注3)	
	(心理学・教育実践学に関心を持つ者)				
	(国語教育に関心を持つ者)				
	(英語教育に関心を持つ者)				
	(社会科教育に関心を持つ者)				
	(算数教育に関心を持つ者)				
	(理科教育に関心を持つ者)				
	(音楽教育に関心を持つ者)				
	(図画工作教育に関心を持つ者)				
	(体育教育に関心を持つ者)				
	(ものづくりと情報教育に関心を持つ者)				
	(家庭科教育に関心を持つ者)				
中学校 コース	言語文化専修 国語分野	(注1)	2		
	英語分野				
	社会専修	(注1)	2		
	自然科学専修	数学分野	(注2)		2
	芸術専修	音楽分野			2
		美術分野			
	身体文化専修	保健体育分野			3
生活創造専修	技術分野	(注2)	2		
	家庭科分野		2		
乳幼児教育コース			5		
特別支援教育コース	(注1)		2		
養護教諭養成課程			5		

(注1) 令和3年度大学入学共通テストにおいて、55頁(注2に記載された科目を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注2) 令和3年度大学入学共通テストにおいて、55頁(注3に記載された科目を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注3) この内訳は目安です。

(注4) 学校推薦型選抜での入学者については、以下のとおりの所属となります。

募集単位等	1年次後半以降所属
教育学に関心を持つ者	教育学専修
心理学・教育実践学に関心を持つ者	心理・教育実践学専修
国語教育に関心を持つ者	言語文化専修 国語分野
英語教育に関心を持つ者	言語文化専修 英語分野
社会科教育に関心を持つ者	社会専修
算数教育に関心を持つ者	自然科学専修 算数分野
理科教育に関心を持つ者	自然科学専修 理科分野
音楽教育に関心を持つ者	芸術専修 音楽分野
図画工作教育に関心を持つ者	芸術専修 図画工作分野
体育教育に関心を持つ者	身体文化専修 体育分野
ものづくりと情報教育に関心を持つ者	生活創造専修 ものづくりと情報分野
家庭科教育に関心を持つ者	生活創造専修 家庭科分野

2) 学校推薦型選抜の対象となる学校及び推薦数

全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。)

推薦できる者の数は、各募集単位等(※)とも1校につき2名までとします。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとします。

※ 各募集単位等は以下のとおりです。

- 小学校コース(教育学に関心を持つ者)
- 小学校コース(心理学・教育実践学に関心を持つ者)
- 小学校コース(国語教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(英語教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(社会科教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(算数教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(理科教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(体育教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(ものづくりと情報教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(家庭科教育に関心を持つ者)
- 中学校コース 言語文化専修 国語分野
- 中学校コース 言語文化専修 英語分野
- 中学校コース 社会専修
- 中学校コース 自然科学専修 数学分野
- 中学校コース 自然科学専修 理科分野
- 中学校コース 芸術専修 音楽分野
- 中学校コース 芸術専修 美術分野
- 中学校コース 身体文化専修 保健体育分野
- 中学校コース 生活創造専修 技術分野
- 中学校コース 生活創造専修 家庭科分野
- 乳幼児教育コース
- 特別支援教育コース
- 養護教諭養成課程

3) 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者

ただし、学校教育教員養成課程

- 小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)
- 小学校コース(家庭科教育に関心を持つ者)
- 中学校コース芸術専修音楽分野
- 中学校コース芸術専修美術分野
- 中学校コース生活創造専修家庭科分野

においては、平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者

学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)

においては、平成31年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者

- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。
養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。

<注意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4) 出願期間：令和2年11月2日(月)～5日(木)(期間内郵送必着)

5) 選抜期日：令和2年11月14日(土)及び15日(日)
ただし、1日で実施する募集単位等があります。

6) 選抜方法

※大学入学共通テストを課す募集単位については、必要科目を受験してください。
受験しない場合は、失格となります。

募集単位等	選抜方法
(教育学に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。</p>
(心理学・教育実践学に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、心理学・教育実践学に関する口頭試問を含みます。</p>
(国語教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p>
(英語教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、英語に関する口頭試問を含みます。</p>
(社会科教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。</p>
(算数教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、算数・数学に関する口頭試問を含みます。</p>
(理科教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。</p>
(音楽教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、実技検査 (57～58頁を参照のこと。) 及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p>
(図画工作教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、高等学校卒業後の経歴書 (既卒者のみ)、面接、志望の理由 (注1)、実技検査及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊 (※) を持参してください (大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません)。 ※作品ファイル=入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>

学校教育教員養成課程
小学校コース

小学校コース	(体育教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、スポーツ活動に関する調査書、面接、実技検査 (58頁を参照のこと。) 及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p>
	(ものづくりと情報教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、ものづくりと情報に関する口頭試問を含みます。</p>
	(家庭科教育に関心を持つ者)	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、家庭科に関する口頭試問を含みます。</p>
言語文化専修	国語分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、小論文及び面接によります。</p>
	英語分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、英語に関する口頭試問を含みます。</p>
社会専修		<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注2)] によります。</p> <p>※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。</p>
		<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注3)] によります。</p> <p>※面接は、数学に関する口頭試問を含みます。</p>
自然科学専修	数学分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注3)] によります。</p> <p>※面接は、数学に関する口頭試問を含みます。</p>
	理科分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、面接及び大学入学共通テスト [科目については (注3)] によります。</p> <p>※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。</p>
芸術専修	音楽分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書及び実技検査 (57～58頁を参照のこと。) によります。</p>
	美術分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由 (注1)、高等学校卒業後の経歴書 (既卒者のみ)、面接及び実技検査によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊 (※) を持参してください (大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません)。 ※作品ファイル=入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>

学校教育教員養成課程
中学校コース

学校教育教員養成課程	中学校コース	身体文化専修	保健体育分野	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調書、小論文、面接及び実技検査（58頁を参照のこと。）によります。
		生活創造専修	技術分野	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト【科目については（注3）】によります。 ※面接は、技術に関する口頭試問を含みます。
			家庭科分野	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。 ※面接は、家庭科に関する口頭試問を含みます。
	乳幼児教育コース	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。		
	特別支援教育コース	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入学共通テスト【科目については（注2）】によります。		
養護教諭養成課程			大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。 ※面接は、保健に関する口頭試問を含みます。	

（注1）「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。

（注2）国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（「『基礎を付した科目』から2科目」又は「『基礎を付していない科目』から1科目」）、外国語〔英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語〕から1科目

なお配点は、以下のとおりです。

大学入学共通テスト						
教科・科目名等	国語	地歴及び公民	「数学Ⅰ・数学A」 又は 「数学Ⅱ・数学B」	理科	外国語	計
配点	200	100	100	100	200	700

（注3）国語、「地歴及び公民」から1科目、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない』から2科目」）、外国語〔英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語〕から1科目

なお配点は、以下のとおりです。

大学入学共通テスト						
教科・科目名等	国語	地歴及び公民	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」	理科	外国語	計
配点	200	100	100	100	200	900
			100	100		

（注4）「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。

（注5）「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。

（注6）（注2）・（注3）において、本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、下記のとおりです。

- ① 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。
- ② 「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
- ③ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
- ④ 「数学」から2科目を受験した場合は、高得点科目の成績を採用します。

（注7）（注2）（注3）に記載されている「地歴及び公民」は、世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』から選択することができます。

（注8）（注3）において、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）を選択することができます。

（注9）大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2=200点」に換算します。特例追試験受験者（リスニング免除者除く）については、「〔筆記（200点）+リスニング（50点）〕×0.8=200点」に換算します。

- 7) 合格発表：大学入学共通テストを課す募集単位等 未定
大学入学共通テストを課さない募集単位等 令和2年12月1日（火）

音楽実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

検査項目

次のA)、B)、C)を全員が受験します。A)、B)、C)のいずれも録画審査とします。録画のファイル形式は、MP4、MOV、AVCHD、AVC/H.264、MPEG-4のいずれかとし、DVD ディスクまたは Blu-ray ディスクに書き込み、ファイナライズして提出してください。ディスクに出願者の氏名を記入してください。画面は横長とし、録画の冒頭に真正面を向いて氏名を名乗り、続いてA)イ.ロ. B) 1.または2. C)の順で録画してください。マスクや帽子等は着用せず、化粧はしないでください。

演奏中の顔と手元を画面に入れ、なるべく出願者を大きく写した鮮明な画質・音質のものとしてください。ただし、加工はしないでください。

映像は令和2年8月14日以降に撮影されたものとします。

DVD ディスクまたは Blu-ray ディスクで対応できない場合は、USB メモリも可とします。録画ファイルを提出することができない場合は、事前に埼玉大学教育学部係(TEL:048-858-3144)にご相談ください。なお、「音楽実技検査に関する調書」を出願書類、DVD 等と同時に提出してください。

A) 次のイとロの両方を受験します。

イ. 次の4曲の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏つき楽譜（例えば市販されている楽譜、自作の伴奏をつけた手書きの楽譜など）を用いて、自分でピアノ伴奏を弾きながら歌います。楽譜を見てもよいです。調は自由。

- ・とんび（とべとべとんび そらたかく・・・）（作詞：葛原しげる 作曲：梁田貞）2番まで歌います。
- ・もみじ（あきのゆうひに てるやまもみじ・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。
- ・スキーの歌（かがやくひのかげ はゆるのやま・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。
- ・冬げしき（さざりきゆる みなとえの・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。

〔注〕録画に用いる伴奏つき楽譜（手書きでも可）を、出願書類と同時に提出してください。提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。

提出した楽譜は返却されません。

ロ. 「ハノンピアノ教本」のNo.39より、変イ長調、へ短調、ロ長調、嬰ト短調、イ長調、嬰へ短調を暗譜で演奏します。繰り返しは省略してください。短調は、和声的短音階の後、続けて旋律的短音階を弾き、カデンツ(終止形)を付けます。速度は、♩=60以上とします。

B) 次の1または2のどちらか1つを選択して受験します。

1. 声楽

5分以上10分程度までの任意の独唱曲を原語・暗譜で歌います。曲数は問いません。

オペラ、オラトリオの曲は原調とします。

2. 器楽

次の楽器の中から1つを選び、**5分以上10分程度まで**の任意の独奏曲を演奏します。

曲数は問いません。ピアノは暗譜とします。ピアノソナタの楽章を複数演奏する場合は、同一の作品から選んでください。

ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

〔注〕①上記の**1、2**とも、伴奏の有無は自由としますが、必要とする場合は、志願者各自で伴奏を用意してください。ただし、伴奏者については、本学在学学生及び教職員は除きます。

②上記の**1、2**とも、録画する曲の楽譜を出願書類と同時に提出してください。

提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。

提出した楽譜は返却されません。

③ピアノについては、弾き歌い、独奏、伴奏、いずれの場合も電子楽器ではなく、ピアノを使用してください。

④上記の**1、2**とも、繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。

⑤複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに録画してください。

C) 次の1、2、3、について、それぞれ1分以内で原稿を読まずに録画してください。

1. 小学校・中学校には、なぜ音楽の授業があるのでしょうか。あなた自身の考えを話してください。
2. 自分が目指す教師像を話してください。
3. 新型コロナウイルスの影響により音楽科の授業や学校行事における合唱が制限されました。これに関連して、あなたは音楽科における合唱活動の位置づけをどのように考えますか。またこうした状況下で、音楽の教師の立場からどのような対応策をとりますか。

体育実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

検査項目

次の種目から1科目選択し、受験します。

種 目	内 容
陸 上 競 技	100m走、400m走、1500m走、100mハードル、110mハードル、走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、円盤投げの中から1つについて評価します。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走します。400m走は、土のグラウンド（使用できない場合100mゴムシート上を折り返し走）でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。100mハードルは女子、110mハードルは男子とします。 走り幅跳び・三段跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。砲丸投げは、高校用砲丸(男子6 kg、女子4 kg)を、円盤投げは、高校用円盤(男子1.75kg、女子1 kg)を投てきします。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。
バレーボール	・2人組のパス ・レセプション（サーブレシーブ） ・アタック ・ポジション別の課題 ・4人対4人のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)
バスケットボール	・バスケットボールの個人技能をみます（ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートをいくつか行います）。 ・パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
サッカー	・個人技能：ボールコントロール、パス&コントロールを行います。 ・個人戦術：クロスボールに対するシュートとボールクリアランスを行います。 ・グループ戦術：「3対3」の攻防を1つのゴール（GK有）で行います。 ・チーム戦術：「5対5」以上の人数でゲーム形式を行います。 (人数によって、やり方を変えることがあります)
ダンス	「創作ダンス作品の演技（3分以内）」。 作品のタイトル・テーマは自由。音楽(CDに限りません。)を持参して使用してもよいです（プレーヤーは大学で用意）。衣装は自由（スカートをはく、上着を着るなど簡単な衣装をつけてもよいです）。創作ダンスに必要なダンステクニックの習熟度と作品を表現する力を評価します。

理学部

1) 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
基礎化学科	5名

2) 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3) 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校において化学（又は相当する科目）及び物理（又は相当する科目）を既修又は履修見込みの者 ※ただし、「化学基礎」・「物理基礎」は含みません。
- (3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4) 出願期間：令和2年11月2日（月）～ 5日（木）（期間内郵送必着）

5) 選抜期日：令和2年11月14日（土）

なお、令和3年度大学入学共通テストにおいて、必ず下記6)の必要科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。

6) 選抜方法：学校長からの推薦書、志望の理由(注1)、調査書、面接(理科【化学、物理】及び数学に関する口頭試問を含む。)及び大学入学共通テスト[3教科5科目]{数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科(化学)、理科(物理、生物、地学)から1、外国語(英語)(リーディング及びリスニング)}によります。

(注1)「志望の理由」は、数ある大学の化学系学科の中から、なぜ埼玉大学の基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループまたは個人の自由研究や課題研究、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。

配点	大学入学共通テスト					面接	合計
	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	理科(化学)	理科(物理、生物、地学)のうち1	外国語(英語)		
	100	100	100	100	200(注2)	600	1200

(注2) 大学入学共通共通テストの外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。

7) 合格発表：未定

工学部

1) 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
環境社会デザイン学科	10名

2) 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。

3) 推薦対象者

以下の各条件を満たす者としてします。

- (1) 平成31年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 調査書中、学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者
- (3) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者

<注意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4) 出願期間：令和2年11月2日（月）～ 5日（木）（期間内郵送必着）

5) 入試期日：令和2年11月14日(土)

なお、令和3年度大学入学共通テストにおいて、必ず下記6)の必要科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。

6) 選抜方法

学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テスト[3教科4科目]{数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科(物理)、外国語(英語)(リーディング及びリスニング)}によります。(注1)(注2)

(注1) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの外国語(英語)の受験を必須とします。
(注2) 外国語(英語)の評価は、大学入学共通テストの成績若しくは、実用英語技能検定試験(英検)、TOEIC(IPを含みます。)、TOEFL(iBT)の結果を大学入学共通テストの成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用います。なお、実用英語技能検定試験(英検)、TOEIC(IPを含みます。)、TOEFL(iBT)の成績は、本学への成績提出日の2年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とします。

配点	大学入学共通テスト(注3)				小論文	面接
	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	理科(物理)	外国語(英語)(注4)		
	100	100	200	200	400	400

(注3) 大学入学共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。

大学入学共通テスト「理科②」は、第1解答科目を採用します。

(注4) 共通テストの外国語(英語)は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
 特例追試験受験者(リスニング免除者除く)については、
 「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」に換算します。
 実用英語技能検定試験、TOEIC、TOEFLの成績は、英語200点満点に以下のように換算して評価します。

- ① 実用英語技能検定試験: 準2級 120点、2級160点、準1級・1級200点
- ② TOEIC: TOEIC 得点×200/780、ただし200点を上限とします。
- ③ TOEFL(iBT)の得点は、ETS から公表されている CEFR 対応表により換算します。
なお、TOEIC-IP の得点は、志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

7) 合格発表: 未定

3 社会人選抜

経済学部 (夜間主コース) 社会人選抜

1) 社会人選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募集人員
経済学科	15名

2) 出願資格

次の条件を満たす者としてします。
 大学入学資格のある者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、
 令和3年4月1日現在で満年齢が23歳以上の者

3) 出願期間: 令和2年10月5日(月)～13日(火)(期間内郵送必着)

4) 選抜期日: 令和2年11月14日(土)

5) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、小論文及び面接によります。

6) 合格発表: 令和2年12月1日(火)

4 帰国子女選抜

1) 募集人員・出願期間等

学 部 ・ 学 科 名	募集人員	出 願 期 間	選 抜 期 日
教養学部 教 養 学 科	若干名	令和3年1月18日(月) ～ 1月25日(月)	令和3年2月25日(木)
工学部 機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情 報 工 学 科 応 用 化 学 科 環境社会デザイン学科	若干名 若干名 若干名 若干名 若干名		令和3年2月26日(金)

2) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、次の表による試験の成績及び出身学校等の成績によります。

学 部 ・ 学 科 名	学 力 検 査	小論文	面 接
教養学部 教 養 学 科	×	×	○
工学部 機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情 報 工 学 科 応 用 化 学 科 環境社会デザイン学科	○ (一般選抜前期日程工学部数学と同じです。) 数学[数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B] ※数Bは「数列」と「ベクトル」	×	○

3) 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受けている者で、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成31（2019）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（学校教育法施行規則第150条第1号）

- (2) 外国において次の資格のいずれかを平成31・令和元(2019)年から令和3(2021)年に取得した者
- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ④ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格

- (3) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設において、高等学校に対応する課程で2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を、平成31（2019）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までの間に修了した者及び修了見込みの者

- [注1] 上記（1）の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。
- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に平成31・令和元（2019）年又は令和2（2020）年に合格した者で、18歳に達した者及び令和3（2021）年3月31日までに18歳に達する者（昭和56年文部省告示第153号第1号）
- イ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を平成31（2019）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者（昭和56年文部省告示第153号第3号）

- [注2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。

- [注3] インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるので、必ず出願前（できるだけ早い時期）に、アドミッションセンター（入試課）までお問い合わせください。

4) 合格発表： 令和3年3月6日(土)

5 私費外国人留学生選抜

1) 実施学部・学科等及び選抜方法

以下に示す学部・学科等において、募集人員若干名で実施します。
 なお、選抜方法は、大学入学共通テストを免除し、次の表による試験及び65頁の表による「日本留学試験で入学志願者に解答させる教科・科目等」の成績及び出身学校等の成績によります。

学部・学科等	学力検査 一般選抜と 同一試験	学力検査 外国人留学生 用試験	小論文		実技検査 一般選抜と 同一試験	面接 (注10)	選抜期日等		
			一般選抜と 同一試験	外国人留学生 用試験			学力検査等日程	面接日程	
教養学部教養学科	○ (17頁前期参照) (注2)	×	×	×	×	○	令和3年2月25日(木)		
経済学部経済学科(昼間コース)	×	×	×	○ (注7)	×	○ (注8)	第1次試験 令和3年2月17日(水)	第2次試験 令和3年2月19日(金)	
学校教育 教員養成課程	小学校コース	教育学専修	○(注3)	×	×	○ (教育学専修は、教育と社会に関する口頭試験及び、日本語文献を読む力に関する口頭試験を含みます。)	○ (注3)	令和3年2月25日(木)	
		心理・教育実践学専修	○(注3)						
		言語文化専修	国語分野						○(注3)
			英語分野						○(注3)
		社会専修	○(注4)						
		自然科学専修	算数分野						○(注5)
			理科分野						○(注6)
		芸術専修	音楽分野						×
			図画工作分野						×
		生活創造専修	ものづくりと情報分野						×
	家庭科分野		○(注3)						
	中学校コース	言語文化専修	国語分野	○	×	×	○ (43、44頁前期参照)	×	令和3年2月25日(木)
			英語分野	○					
		社会専修	○						
		自然科学専修	数学分野	○					
			理科分野	○					
		芸術専修	音楽分野	×					
			美術分野	×					
		身体文化専修	保健体育分野	×					
			生活創造専修	技術分野					
家庭科分野		○							
乳幼児教育コース	○								
特別支援教育コース	○								
養護教諭養成課程	×	×	×	×	×	○ (43～45頁前期参照)	×	令和3年2月25日(木)	
理学部	数学科	○ (35、37頁後期参照)	×	×	×	×	○	令和3年3月12日(金)	令和3年3月15日(月)
	物理学科								
	基礎化学科								
	分子生物学科								
生体制御学科	×	○ (37頁後期参照)	×	×	×	×	×	×	
工学部	機械工学・システムデザイン学科	×	×	×	×	×	○	×	令和3年2月26日(金)
	応用化学科								
	電気電子物理工学科								
	情報工学科								
環境社会デザイン学科	○ (注9)	×	×	×	×	×	×	×	

注1 出願期間は、令和3年1月18日(月)～1月25日(月)です。
 詳細については令和2年11月頃に公表する「令和3年度埼玉大学学生募集要項」を参照してください。

注2 教養学部の学力検査には、辞書を1冊使用できる。但し電子辞書の使用は禁止します。

注3 小学校コース 文系の外国語を受験する。21頁前期参照。

注4 中学校コース 社会専修の小論文を受験する。25頁前期参照。

注5 小学校コース 理系の数学を受験する。21頁前期参照。

注6 小学校コース 理系の理科を受験する。21頁前期参照。

注7 経済学部の小論文試験は、「課題を与え、思考力、理解力、日本語能力をみる」という出題意図で実施します。

注8 経済学部の第2次試験(面接)は第1次試験(小論文)合格者に対して行います。(第1次試験の合格発表は令和3年2月18日(木)14:00)

注9 工学部・電気電子物理工学科、情報工学科及び環境社会デザイン学科の学力検査は、数学[数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(「数列」と「ベクトル」)]です。

注10 面接は日本語で行います。

学部・学科等		日本留学試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	出題言語	入学者選抜に利用する日本留学試験	
教養学部		日本語、総合科目、数学(コース1)	日本語、英語のどちらでも可		
経済学部	昼間コース 経済学科				
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学専修	下記の文系・理系のどちらを選択しても可 文系: 日本語 総合科目 数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース1又はコース2)	日本語のみ 令和元年6月～ 令和2年11月 実施分	
		心理・教育実践学専修			
		言語文化専修			国語分野
					英語分野
		社会専修			
		自然科学専修			算数分野
					理科分野
		芸術専修			音楽分野
					図画工作分野
		生活創造専修			ものづくりと情報分野
	家庭科分野				
	中学校コース	言語文化専修			国語分野
					英語分野
		社会専修			
		自然科学専修			数学分野
					理科分野
		芸術専修			音楽分野
					美術分野
		身体文化専修			保健体育分野
		生活創造専修			技術分野
家庭科分野					
乳幼児教育コース					
特別支援教育コース					
養護教諭養成課程					
理学部	数学科 分子生物学科	日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース2)			
	物理学科	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の計2] 数学(コース2)			
	基礎化学科	日本語 理科[(化学)と(物理・生物から1)の計2] 数学(コース2)			
	生体制御学科	日本語 理科[(化学)と(生物)の計2] 数学(コース2)			
工学部	機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情報工学科 環境社会デザイン学科	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の計2] 数学(コース2)			
	応用化学科	日本語 理科[(物理)と(化学)の計2] 数学(コース2)			

2) 出願資格

本学に出願できる者は、次の(1)～(3)のすべてに該当する者とします。

- (1) 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除きます。）
 - [注1] 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び令和3（2021）年3月卒業見込の者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。
 - [注2] 日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、私費外国人留学生入試の出願はできません。
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - [注] 上記①の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」は、次のものが含まれる。
 - ・外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ）に合格した者で、令和3（2021）年3月31日までに18歳に達する者
 - ・外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者
 - ・外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者
 - ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
 - ⑥ 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者

(3) 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者

[注1] 「日本留学試験」の受験科目等については、65頁の表を参照してください。

[注2] **教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。**

- ・ **教養学部志願者**においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計得点が**300**点以上
- ・ **経済学部志願者**においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計得点が**280**点以上、総合科目又は理科（3科目のうち2科目選択）と数学（コース1又はコース2）の合計得点が**280**点以上
- ・ **工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者**においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）の合計得点が**270**点以上、理科（志望する学科が指定する2科目）の合計得点が**120**点以上、数学（コース2）の得点が**120**点以上
- ・ **工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者**においては、「日本留学試験」の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）の合計得点が**320**点以上、理科（物理と化学又は生物）の合計得点が**140**点以上、数学（コース2）の得点が**140**点以上

[注3] 日本留学試験の「**受験票**」・「**成績通知書**」(コピーは不可)を本学の試験当日に必ず持参すること。
なお、受験票・成績通知書は、出願の際提出した「成績通知書の写し」に則したものを持参してください。

[注4] 日本留学試験については下記に照会してください。

照会先 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課 TEL 03-6407-7457(直通)

3) 合格発表 令和3年3月6日(土) (※経済学部の第1次試験の合格発表は令和3年2月18日(木))
なお、理学部については令和3年3月20日(土)となります。

VI 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：アドミッションセンター（入試課） TEL 048-858-3036（平日9時～17時）

1 申請方法

申請する場合は、次の該当する①～③を【〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課】あてに提出してください。

郵送の場合は、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書してください。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①	令和3年度埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書 （本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf)
②	医師の診断書 （障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 発行後6ヶ月以内の原本又は大学入学共通テストにおいて受験上の配慮を申請していて、その後、症状並びに希望する措置等に変更がない場合には、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しを提出してかまいません。
③	受験上の配慮事項決定通知書 大学入学共通テストにおいて、受験上の配慮を申請して認められた場合、大学入試センターより「受験上の配慮事項決定通知書」が送付されます。埼玉大学に事前相談を申請する際は、その通知書の写しを提出してください。

2 申請書提出時期

出願受付期間の開始日から換算し20日前までに申請してください。但し、一般選抜（前期日程・後期日程）については、令和2年12月25日(金)までとなります。

障がいの程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもあります。その場合にはできるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日以降申請した場合は、出願受付期間前に回答することができないことがあります。その場合であっても出願受付期間内に出願する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることとなります。（出願受付期間を延長することはできません。）

3 申請受付後の回答日

出願受付期間開始日の前日（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本学関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、事前相談申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送します。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となります。

VII 入学資格審査について

本学入学試験受験に際し、本学学則第33条第8号に規定する「その他本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者」の入学資格認定を必要とする者については、本学に入学の意志のある場合に限り、本学入学資格審査要項に基づき個別に認定のための審査を行いますので、審査を希望する者は、本学入学資格審査要項を熟読の上、下記にお問い合わせください。

なお、審査には相当な時間がかかりますので、お早めにお問い合わせください。

連絡先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
 埼玉大学学務部入試課
 TEL 048-858-3036 (平日9時～17時) FAX 048-858-3683

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載されています。
 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exarn_info/exarnation/)

VIII 入試情報の開示

令和3年度入試情報について、請求に基づき入試成績を開示します。
 詳細は、学生募集要項に掲載します。

IX 令和3年度学生募集要項の入手方法

募集要項種別	発表時期	入手方法
総合型選抜(理・工)、 学校推薦型入試(教養・教育・理・工)	7月頃	本学では、インターネット出願の導入に伴い、各種学生募集要項の冊子は配布しません。
一般選抜(前期日程・後期日程)、 帰国子女選抜及び私費外国人留学生選抜	11月頃	左記発表時期以降、本学ホームページからダウンロードしてください。 http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/requirements/
経済学部(夜間主コース)社会人選抜	7月頃	

XI 入試情報ホームページ及びスマホサイト

<http://www.saitama-u.ac.jp> 【パソコン】
<http://telemail.jp/web/saitama-u/> 【パソコン・スマホ】

スマホサイト
コード



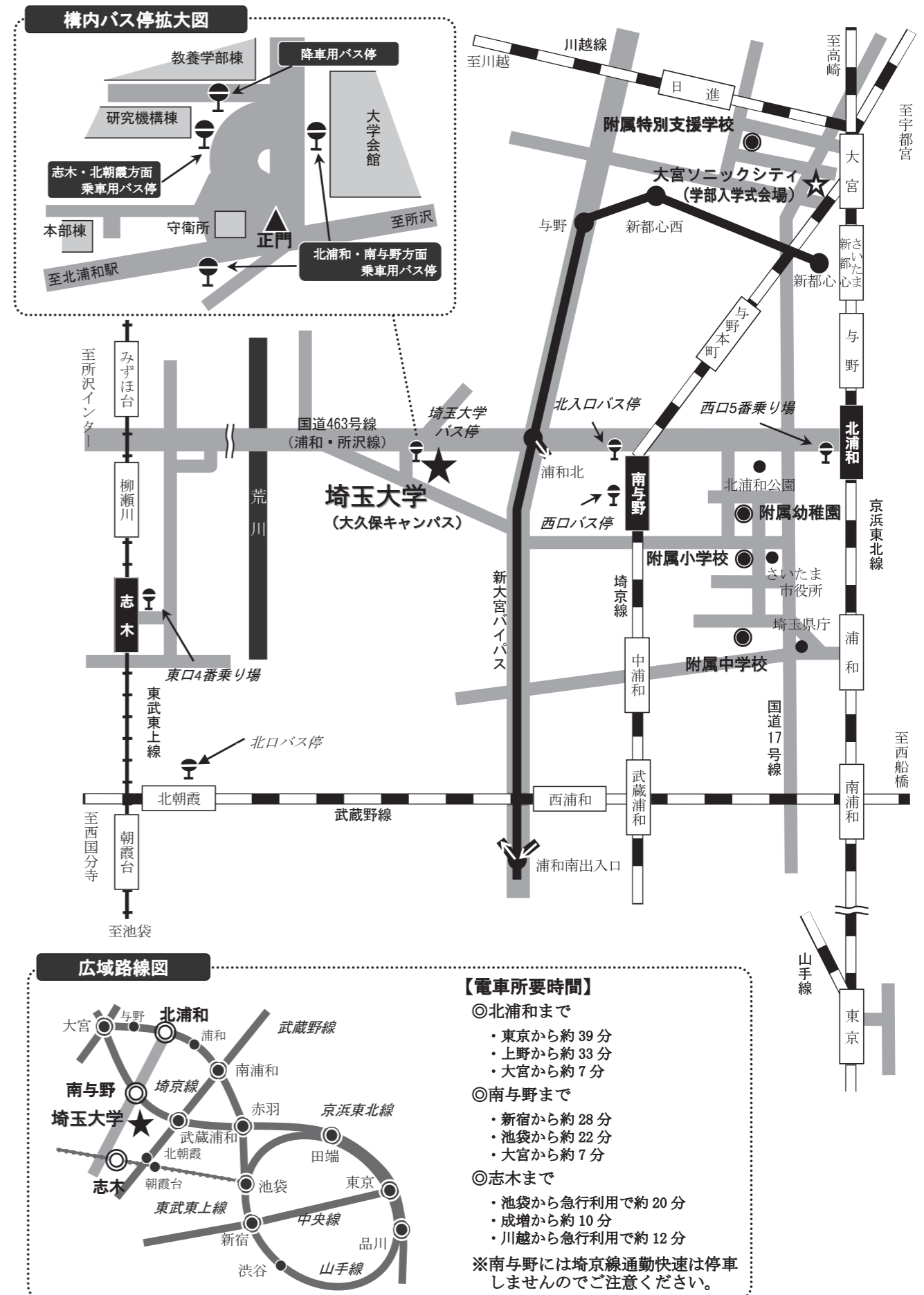
LINE@



LINEでも入試情報を配信しております。

ID: @saitama-u

大学周辺地図





本要項についての問い合わせ先

〒 338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学学務部入試課

TEL 048-858-3036

※ 問い合わせは、平日の9時～17時の間に、志願者本人が行ってください。

教養学部志願者 教養学部係 TEL 048-858-3044

経済学部志願者 経済学部係 TEL 048-858-3287

教育学部志願者 教育学部係 TEL 048-858-3144

理学部志願者 理学部係 TEL 048-858-3345

工学部志願者 工学部係 TEL 048-858-3429